

□ はH29/4公表値

□ はH29/4公表値

	29年3月期 第2四半期累計		30年3月期 第2四半期累計		前年 同期比	29年3月期 通期		30年3月期 通期		前期比
	実績	構成比	実績	構成比		実績	構成比	見通し	構成比	
売上高合計	1,943	100%	2,050 2,198	100%	+13%	4,013	100%	4,200 4,400	100%	+10%
<海外売上高合計>	<1,401>	72%	<1,615>	73%	+15%	<2,881>	72%	<3,200>	73%	+11%
営業利益(%)	(18%) 343		(16%) 330 359		+5%	(16%) 632		(16%) 670 700		+11%
電力関連事業	264	14%	272	12%	+3%	528	13%	570	13%	+8%
営業利益(%)	(-) Δ28		(-) Δ21		-	(-) Δ66		(-) Δ30		-
セラミックス事業	1,193	61%	1,310	60%	+10%	2,452	61%	2,600	59%	+6%
営業利益(%)	(29%) 351		(23%) 298		Δ15%	(26%) 646		(22%) 570		Δ12%
エレクトロニクス事業	486	25%	615	28%	+27%	1,035	26%	1,230	28%	+19%
営業利益(%)	(4%) 19		(13%) 81		+325%	(5%) 53		(13%) 160		+205%

セグメント間売上消去

Δ1

Δ1

Δ3

	売上高比	前年 同期比	売上高比	前年 同期比	売上高比	前年 同期比	売上高比	前年 同期比
経常利益(%)	(17%) 324	+6%	(16%) 315 342	+6%	(16%) 646	+8%	(16%) 680 700	+8%
親会社株主に帰属する 当期純利益(%)	(11%) 217	Δ9%	(9%) 200 198	Δ9%	(9%) 364	+26%	(10%) 450 460	+26%
ROE	-	-	-	-	8.8%	10.5%		
1株利益	67.08円		61.53円		112.71円	143.00円		
配当金(配当性向)	20円		21円		40円(35.5%)	44円(30.8%)		

為替レート(円/USD)

106

111

109

111

為替レート(円/EUR)

119

127

119

126

設備投資	309	16%	320	15%	+4%	601	15%	900	20%	+50%
減価償却費	128	7%	145	7%	+13%	266	7%	310	7%	+16%
研究開発費	87	4%	100	5%	+15%	187	5%	215	5%	+15%

**第2四半期累計期間の要点・・・前年同期比 増収・営業/経常利益は増益も
当期純利益は減益**

- ① 事業別業績概況(売上高、営業利益)
- 【電力関連】……………増収・赤字縮小
- ・がいしは海外向けの出荷が増加し、増収。NAS は大口案件の出荷が無く、売上は低調。利益はがいし、NAS 共に生産体制を縮小し赤字削減。
- 【セラミックス】……………増収・減益
- ・自動車関連製品 中国市場でトラック販売が増加したほか、排ガス規制の強化によるセンサー使用本数増が寄与し増収。利益は開発費や立上げ費用等が増加し減益。
- 【エレクトロニクス】……………増収・増益
- ・半導体製造装置用製品 旺盛な 3D-NAND 関連投資を背景とした需要増により、増収・増益。
 - ・電子部品 中国の携帯基地局投資が低調に推移しパッケージ需要減の一方、ウエハーの出荷増により売上は横ばい。利益はコストダウン等により赤字縮小。
 - ・金属 中国市場向けを中心に堅調に推移し、増収増益。
- ② 為替影響： 売上高 +54 億円、営業利益 +8 億円
- ・前年同期 106 円→当期 111 円/USD、119 円→127 円/EUR
- ③ 特別損失 固定資産減損損失 25 億円、競争法関連損失引当金繰入額 11 億円

通期 見通しの要点 …… 前期比 増収・増益の見通し

- ① 事業別業績概況(売上高、営業利益)
- 【電力関連】……………前期比 増収・赤字縮小
- ・がいし 中国・アジア向けの大口案件を取り込み増収。生産規模を縮小し黒字化を目指す。
 - ・NAS 国内外共に大口案件無し。ミニマム生産体制で赤字を縮小する。
- 【セラミックス】……………前期比 増収・減益
- ・自動車関連製品 中国市場でトラック販売が増加するほか、センサー使用本数増により増収の見通し。利益は開発・償却増に加え、立上げ等の一時費用増により減益の見通し。
 - ・産業プロセス 国内・中国の客先でリチウムイオン電池関連の投資が増加し加熱装置を中心に増収。利益は費用増等により減益の見通し。
- 【エレクトロニクス】……………前期比 増収・増益
- ・半導体製造装置用製品 半導体製造装置メーカーの 3D-NAND・DRAM 関連投資が拡大し、大幅増収・増益の見通し。
 - ・電子部品 パッケージは需要回復が遅れ業績悪化の一方、モバイル通信の高速・大容量化による高性能フィルターの市場拡大と共に複合ウエハーの需要が増加し、増収・赤字縮小。
- ② 為替影響： 売上高 +69 億円、営業利益 +8 億円
- ・前期 109 円→当期 111 円/USD、119 円→126 円/EUR
(下期為替前提:110 円/USD、125 円/EUR)
 - ・下期 1 円当たりの影響: USD(売上高 5 億円、営業利益 2.6 億円)
EUR(売上高 3 億円、営業利益 0.4 億円)
- ③ 配当予想 中間 21 円、期末 23 円の年間 44 円を予定。